



津市一身田町2843  
高田中・高等学校内  
樹心会事務局  
電話 059-232-2442



ご挨拶  
同窓会会長  
佐脇 功

皆様には、ご清栄のことと存じ  
お喜び申し上げます。

日頃から同窓会の運営、母校の発  
展に格別のご理解ご支援を賜ってい  
ますことに感謝いたし厚くお礼申し  
上げます。

県内は勿論のこと、全国、国際社  
会で多くの同窓会員が広く活躍され  
社会に貢献されていることはご同慶  
の限りと存じます。

母校の近況は、学苑長はじめ先生  
方から案内されています。校舎等の  
施設・設備並びにクラブ活動・進路  
指導など教育内容にわたり目覚まし  
い発展を続けていることは誠に喜ば  
しいことです。



ご挨拶  
学苑長  
中高校長  
高臣 文祥

同窓の皆様にはお元気で、ご活躍の  
こととお慶び申し上げます。

前学苑長田中和磨先生が本年三月  
で勇退されました。先生は旧制高  
田中学校を昭和十八年三月ご卒業で  
同窓会では常に指導的立場にあり、  
その運営発展にご尽力され、ご功績  
は誠に偉大であります。

終戦後、空白期間があった同窓会  
報の復刊に努力され、昭和三十三年  
に復刊第一号が出されました。会報  
が復刊できたのも先生のご尽力の賜  
物と申しても過言ではありません。  
樹心会報第一号その復刊に続いて本  
館改築の同窓生募金、さらに続いて  
運動場拡張の同窓会寄付金の募金業  
務を同窓会事務局（田中先生をはじ  
め同窓教職員で構成）で精力的に遂  
行されましたが、事務局業務も多忙  
で授業片手間では処理しきれない状  
態で行方敏夫先生（旧制高田中学校  
大正十一年卒業。小学校長を勇退）  
に同窓会事務局長を田中先生から懇  
請され、就任いただきましたが同窓  
会事務局といっても名ばかり、金は

私は、今年度より高田学苑の学苑  
長の職に任せられました。当面は中  
高等学校の校長も兼務する事となり  
ます。もとより浅学非才の身でござ  
いまして、はたしてどれだけ皆様の  
ご期待に応えることができるかと不  
安に思うところですが、学苑の歴史  
と伝統を継承しさらに発展させるた  
めに精一杯の努力を尽くさなければ

ない人はなしのなないづくめ、は  
じめの四年間は行方事務局長も無給  
であった。学苑購買部の売店経営を  
同窓会事務局の事業として定着化さ  
せ、専従女性事務員二名を雇用し、  
人件費を売店収入から捻出できるよう  
になった。同窓会運営経費の一部  
も売店収入から賄ってもらえるよう  
になりました。このような話を学苑  
長室で田中先生（現職当時）から  
拝聴しました。昭和五十四年七月発  
行の樹心会報第二十三号で「行方事  
務局長さん!!ご苦労さま」に田中先  
生が記されています。

前学苑長田中和磨先生が同窓会組  
織の整備、拡充発展にご尽力された  
ご功績は言葉で言いつくせない次第  
です。田中和磨先生、本当にありが  
とうございました。同窓会役員会で  
先生に名誉顧問、就任をお願いいた  
し、快くお引き受けいただきました。  
田中先生は昭和三十年四月、  
学校法人高田学苑高田高等学校・高  
田中学校に教諭として奉職され爾来、  
平成二十二年三月、高田学苑長・高  
田学苑理事長を退職されるまで五十  
五年の永きに亘って高田学苑、三重  
県私学教育一筋に勤めてこられました。  
主要なご経歴。  
高田高等学校・高田中学校教諭  
昭和30年4月～昭和60年3月  
高田学苑理事

ならないと、強い重圧と緊張感を感じ  
ながら日々の職務に取り組んでい  
るところです。  
田中前学苑長先生は在職五十五年、  
学苑長として十五年の長きにわたり  
高田学苑に大きな功績を残されまし  
た。その詳細につきましては佐脇会  
長様からご紹介されておりますので、  
その上に私の申し上げるところでは

- 昭和59年2月～平成22年3月  
高田高等学校・高田中学校教頭  
昭和60年4月～平成2年3月  
高田高等学校・高田中学校副校長  
平成2年4月～平成6年3月  
高田高等学校・高田中学校校長  
平成6年4月～平成10年3月  
高田学苑長  
平成7年4月～平成22年3月  
高田学苑理事  
平成18年3月～平成22年3月  
三重県私立学校優良教職員表彰  
(昭和50年11月 三重県知事)  
日本馬術功労表彰  
(平成7年12月 日本馬術連盟)  
体育・スポーツ振興功績表彰  
(平成9年11月 三重県体育協会)  
教育者表彰  
(平成9年12月 文部大臣)

校長在職中は、温厚篤実な人柄と  
強い責任感、遅しい実行力によって  
教職員の持てる力を充分に發揮させ  
ることに努め、県民から期待される  
学校づくりに尽力された。また、教諭の  
実を上げられました。また、教諭の  
頃から学校経営に先見性を発揮し、  
中学校・高等学校一貫教育の六年制  
コースの新設に努め、中学校三年制  
を廃止し六年制コースのみとし、同  
コースの生徒数増を実現し、現在の  
六年制の確固たる名声を築かれた。

ないのですが、私は、特に、平成十  
七年以来の中・高等学校の施設整備  
については触れずにはおられません。  
従来からの西館、中館、北館、講  
堂等の耐震性が問題となるやそれら  
を解体し、新たに3号館、4号館、  
5号館、第2体育館を建設しました。  
さらに、昨年は学校の西の約三万五  
千平米の農地を購入して、私たちの

学苑長、理事長在職中は、短期大  
学の学科改編、研究センターの設置  
並びに短期大学、高等学校、中学校  
の校舎改築及び施設設備の整備充実  
に努められ、その竣工・完備を成し  
遂げられた。昨年度は高等学校の新  
グラウンドを完成し、県下に例を見  
ない素晴らしい教育環境を整備され  
ました。

私学協会の役職にあつて私学教育  
発展にも大きく貢献されました。  
この間五十五年、常に建学の精神  
に則り、学苑経営に専念されました。  
先生の円満なお人柄と真摯なご指導  
により幾多の有為な若者を育てられ、  
各界で指導的立場にある多くの人材  
の育成に努められました。  
田中和磨先生のご功績を皆様にご  
披露し、先生への感謝の言葉とさせ  
ていただきます。  
同窓会員は、建学の精神「仏教精  
神を基として宗教的情操を培い、人  
間性豊かな社会人を育成する」を今  
一度、思い起こして社会に貢献でき  
るよう励みたいものです。  
同窓会は会員相互の親睦と連携を  
図り、母校への支援を目標に活動し  
ます。どうぞ今後ともご協力をお願  
いいたします。  
八月一日(日)の総会・懇親会に  
はお誘い合せて、大勢の皆様が参加  
されますようお願い申し上げます。

長年の夢でありました西グラウンド  
が完成されました。学校の施設環境  
がすばらしいものに整えられたこと  
は、いち早く今年の生徒募集におき  
まして本校を希望してくれる生徒が  
増大したというよい結果をもたらし  
ています。  
また、中・高等学校の体制につき  
ましては、六年コースの一学年を四

クラスから五クラスに拡充されましたが、これによって基本的に三年コースと六年コースが共に三十クラスとなり、両コースが名実共に車の両輪となって進学の実績をあげると共に、学校経営の安定化に寄与するところとなったのであります。

このような大事業を次々と成就させてきたことには、田中先生の類い希な経営手腕と機を見て敏な決断力を抜きに語ることはできません。



大の短組  
高田 短組  
高取 組  
短大学長  
栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆さまには、ご壮健にていよいよご活躍のことと拝察申し上げます。

昨年のご挨拶の中で、教員と職員との垣根を超え、教職員が一丸となって学生の入学前から卒業後までをトータルに支援するエンロールメント・マネジメントの体制を整えた旨、ご報告いたしました。この取り組みは順調に機能し、本学の教育の改善につながっていることは誠に喜ばしいことです。

この取り組みの成果をいくつかご紹介したいと思います。まず第一の成果は、学生確保にあらわれ、全国の短期大学の約七〇％が定員割れを来している中、本学は本年度、子ども学科一五三名、人間介護福祉学科三〇名、オフィス情報学科七二名、合計二五五名の新入生を迎えることができました。入学定員はそれぞれ、一五〇名、四〇名、六〇名の計二五〇名ですから、残念ながら人

私は、昭和四十八年に学苑に奉職いたしました。思い起こせばその初めての年に、田中先生が学年主任のもとで修学旅行に参加させていただいたのを始まりとして、翌年から当時のいわゆる田中中学年の担任として仕事をすするなかで先生から高田の教育の基本を教えていただきました。そのことで私の今日があることに心から感謝申し上げる次第です。

高田中・高等学校の現況を報告い

間介護福祉学科は定員に達しませんでした。平成二十一年度も入学生を迎えたことになりました。介護を取り巻く環境はまだまだ厳しいといえ、就職困難な社会情勢や厚労省の施策等により、介護福祉士を目指す人が徐々に増えてきているように思われます。人間介護福祉学科の定員確保に今後は傾注したいと考えています。

第二の成果は、平成二十一年度も、本学は希望する学生のほぼ全員が就職できたことです。世界的な金融危機を招いたリーマンショックから約二年が経ち、日本の経済も徐々に立ち直りを見せてはいるようですが、大学・短大の新卒者の就職は厳しさを増しています。今春卒業した大学生の就職率（四月一日現在）は、前年同期を三・九ポイント下回る九一・八％、短大卒の就職率は八八・四％（同六・一ポイント減）という結果

でした。このような厳しい状況の中、本学の卒業生がほぼ一〇〇％就職できましたのは、同窓生の皆さまが地域社会に貢献され、高い評価を得ておられますおかげであることは申すに及ばず、「キャリア支援室」を中心に教職員が一丸となって就職先を

たします。

今春、三年制が三百九十六名、六年制が二百八名の合計六百四十四名が卒業しました。そして、入学者は中学が百九十九名と高校が四百三十七名の併せて六百三十六名の新入生を迎え、現在の在校生は、中学生が六百十三名と高校生が千七百九十三名の全体で二千四百六十六名（六月一日現在）となります。少子化、経済情勢の悪さ、加えて県立高校授業料無償化（実

の支援をし、学生がそれに応えてくれたおかげであったと思います。

第三は、文部科学省の「平成二十一年度大学教育・学生支援推進事業」のうち、「テーマB」学生支援推進プログラムに、「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」というプログラムです。現在、シ

ステムの構築はほぼ終了し、間もなく実用化の運びとなります。この取り組みは、学生の学習やキャリア形成、就職活動支援体制を強化する目的で、就職情報ポータルサイト、及び学習ポートフォリオ機能をもったキャリアアカルテシステムの構築を目標とするもので、運用が開始されれば、学生に対するより緻密な教育支援や就職支援が可能になるとともに、卒業後も、このシステムを利用して、就職支援を受けることができるようになります。

既述のとおり、大学・短大生の就職は厳しさを増し、また、卒業後の社会への不応や職業への不応、早期離職等、学生を取り巻くさまざまな問題が指摘されています。このような社会情勢に鑑み、文科省は中央教育審議会の答申に基づいて「短期大学設置基準」を改正し、今年の

際には私学にも同額の就学支援金が支給されるのですが、等の影響を受けて高校の募集が非常に厳しい環境の中で募集定数を十分にクリアーできたことは評価されると思います。これは本校の教職員が誠実に且つ協力して生徒の教育に取り組んでいること、さらには学校の施設がすばらしいものとなったことのおかげであると感謝しているところです。

進路状況や部活動におきましても

二月二十五日に公布しました。来年四月一日から施行されることとなります。この改正によって、短期大学は、学生の社会的・職業的自立に必要な能力を培うための体制作りが義務づけられることとなります。本学でも間もなく運用の始まる「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システム」は、このような状況におけるまさにタイムリーなシステムで、昨年度末に行われた本システムの外部説明会においても、非常に高い評価をいただきました。

本年度以降はこのシステムの運用により、さらに緻密なキャリア形成やそれぞれの学生にマッチした職場への就職を支援していきたいと思えます。本学を卒業された同窓生の皆さんも、就職のご相談があれば、遠慮なく「キャリア支援室」へお問い合わせください。できる限りの支援をさせていただきます。

平成二十一年度における特に大きなできごとはこの三点ですが、そのほかエンロールメント・マネジメント取り組みの成果は、日々の大学の教育研究推進のさまざまな場面に、全教職員の協働というかたちとなってあらわれてきています。

本学の使命は、「少子化・子育て

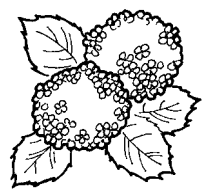
大変優れた結果を残しておりますが、それぞれの担当からの報告をご覧になって下さい。

学苑は現在のところ大変順調に運営されておりますが、現状に満足してとどまることなく、常に緊張感をもって高田の教育に取り組み、生徒学生や保護者の方々にいっそう満足していただける学苑をめざして努力していく所存です。

困難、超高齢化、そしてIT化が進化する現代社会から真に要請され、社会に貢献できる、高度な専門知識や技術・技能を身につけた、「やわらか心」の保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成するとともに、本学ならではの仏教、子育て支援、介護福祉、ビジネス実務等に関する「知」のサービスを地域社会に提供し、地域の文化の発展と生涯学習環境の充実に寄与する」ことにあります。この使命を遂行するためにはまだまだ解決しなければならぬ問題がたくさんありますが、建学の精神・教育の理念を全教職員が共有しながら、一丸となって使命遂行のため尽力していく覚悟です。

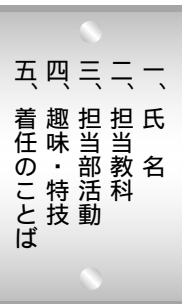
同窓生の皆さんの変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本学の使命は、「少子化・子育て



### 中・高等学校

- 一、濱口 高明
- 二、理科
- 三、放送部
- 四、庭いじり
- 五、歴史と伝統の高田学苑でお世話になることができ、ひとときわ嬉しく感謝しています。多くのすばらしい先生方に大変親切にご指導を



- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

## 新任教職員紹介

いただき、学ばせていただくことが多く、毎日がとても充実しています。

生徒の雰囲気もどことなく格調の高さを感じられ、日々身のひきしまる思いです。これも高田学苑の伝統の空気が、長い年月をかけて育んだものではないかと感じています。

もとより至らぬ者ですが、少しでも学苑のお役に立てるよう、精一杯つとめさせていただきますので、何とぞよろしく願っています。

- 一、東福寺 創
- 二、高等学校地理歴史

平成22年度  
**高田学苑樹心同窓会総会**  
平成22年 8月 1日(日) AM10:00~

- 追 弔 会 高田短期大学講堂 1号館 4F
- 総 会 同上
- ミニコンサート シャンソン歌手 橘 妃呂子 (高校53年卒)
- 懇 親 会 高田短期大学 2号館 1F

※会費、1,000円当日 1号館 1F受付で頂きます。  
※お車でお越しの方は高田中・高等学校職員駐車場、本山駐車場、短大駐車場をご利用ください。

平成21年度 同窓会総会 (ゲスト あべ静江 高校S46年卒)

### 平成21年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収 支 決 算 書 (H21. 4. 1~H22. 3. 31) (円)

項 目	金 額
<b>収入の部</b>	
前年度繰越金	3,324,862
株式配当金 (中部電力)	452,818
株式配当金 (みずほフィナンシャルグループ)	8,190
総会 (記念事業)	2,676,000
同窓会入会金 (高校)	2,114,000
同窓会入会金 (短大)	584,500
預金利子	557
<b>収 入 合 計</b>	<b>9,160,927</b>

<b>支出の部</b>	
総会 (記念事業)	4,538,281
役員会費	127,000
会報印刷費	202,180
会報発送費	213,891
通信費	15,315
慶弔費	25,200
卒業記念品費 (高校)	247,760
卒業記念品費 (短大)	74,466
同窓教職員歓迎迎会補助金	250,000
事務消耗品	63,950
雑費	3,465
有価証券増資 (中部電力 85株)	185,725
有価証券増資 (みずほフィナンシャルグループ 90株)	15,480
有価証券購入手数料	9,187
<b>支 出 合 計</b>	<b>5,971,900</b>

収 支 差 額 次 期 繰 越	3,189,027
-----------------	-----------

### 財 産 目 録 (H22. 3. 31現在) (円)

項 目	金 額
<b>基本財産</b>	
百五銀行定期預金	1,500,000
百五銀行定期預金	2,009,612
百五銀行定期預金	1,413,147
	株券単価 時 価
中部電力 8,200株 (日興コーディアル証券)	2,337 19,163,400
みずほフィナンシャルグループ 4,000株 (日興コーディアル証券)	185 740,000

- 一、西尾 優
- 二、国語
- 三、演劇部
- 四、観劇、国内旅行
- 五、本年度より、母校でもあります高田学苑で教鞭をとらせていただくことになり、嬉しく思うとともに、大変感謝を致しております。

プが学苑の発展に寄与すると信じて、今後も努めて参ります。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

教師としてまだまだ至りませんが、生徒に信頼される教師を目指し、努力精進していきますので、今後共、ご指導の程よろしくお願致します。

- 一、富倉 崇嗣
- 二、美術科
- 三、高校陸上部
- 四、映画鑑賞、動物の餌やり
- 五、本年度より歴史と伝統のある高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝しております。

着任して早二ヶ月が過ぎ、先生方の暖かいご指導のもと、試行錯誤を繰り返しながら勉強の毎日を送っています。

美術科教員として、生徒一人ひとりの発想力や表現力を大切に、心に豊かな世界観を育成していきたいような授業を心掛けたいと考え

緊張の着任から早二ヶ月、先生方には不慣れな私を温かく迎え、ご指導をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。また授業や部活動など試行錯誤の中で、生徒の笑顔に励まされています。生徒共に自分自身も成長していきたいと思っ

ています。  
 至らない点が多く、何かとご迷惑をお掛けする事も多いかと思えますが、自覚を持ち、初心を忘れずに、日々精進してまいりますので、今後とも御指導のほど、よろしくお祈り致します。

- 一、大谷 正典
- 二、数学
- 三、なし

四、テニス、将棋、熊野古道散策  
 五、本年度より母校である高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思っています。

私が生徒であった頃にくらべて施設・設備は大変素晴らしくなり隔世の感があります。また一方で林間学校など伝統の行事も続いていて懐かしく感じています。社会が大きく変動する中で変わらぬもの大切さにあらためて気づかされました。

微力ながらも力一杯つとめさせていただきますので、どうぞよろしくお祈り致します。

- 一、上杉 祥樹
- 二、仏教
- 三、ハンドボール部
- 四、博物館巡り
- 五、母校である高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思い、感謝しております。

着任して数ヶ月、生徒の心に残る授業を目指して、努力していますが、力不足を痛感する日々を送っております。未熟ゆえに、まだまだ不慣れな点や至らない点が多く、その度に先生方から温かいご指導をいただき、感謝しております。

今後、本学の歴史と伝統に傷を

付けないよう、また、少しでも学苑のお役に立てるように、精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお祈り致します。

- 一、古市恵津子
- 二、英語
- 三、なし
- 四、写真、ミュージカル、バレエ鑑賞
- 五、このたびご縁があって本学苑に赴任させていただくことになりました。これまでの公立高校とはかなり趣きが異なり、二ヶ月経った今でも、日々新しい発見に感じたり、とまどったり(?)しております。人なつっこい生徒が多く、授業中の反応もよく、とても楽しくやりがいを感じております。先生方も、わからないところ等、親切に教えて下さり有難い限りです。本学苑で、また新たにいろいろな人との出会いの機会を得ることができ、人生の新たな一ページが開かれたと思います。このご縁をこれからも大切にしたいと願っております。今後とも、どうぞよろしくお祈り致します。

一、ダイクス 京子  
 二、カウンセリング室  
 三、なし  
 四、海外旅行、映画・音楽鑑賞  
 五、この三月末まで、津市の教育委員会より、小学校でスクールカウンセラーとして勤めておりましたが、今回ご縁を賜り、四月よりこの高田学苑でお世話になることになりました。感謝の気持ちと同時に、責任の重さを痛感している毎日です。

子どもの成長に伴い、彼らが抱えている問題も深刻で複雑、また

答えを見つけ出すまでの時間も長くかかります。一人でも多くの子どもを支えてあげられるように、保護者の方々をはじめ、教職員の方々の協力を仰ぎながら尽力して参ります。

- 一、兼門 里紗
- 二、事務部庶務課
- 三、なし
- 四、ショッピング、旅行
- 五、本年度より、母校である高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思っています。事務職員という立場になり、学生生活の中では気づくことのなかった、教職員の皆様の様々な支えがあったことに気づき、深く感謝しています。まだまだ未熟で皆様にはご迷惑をおかけしますが、これから大きく成長できるように頑張りますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

一、寺井 耕吾  
 二、数学  
 三、中学バレーボール部  
 四、音楽鑑賞、スポーツ観戦、ドライブ  
 五、卒業以来、長く大学の方で物理学の勉強を続けてきましたが、このたび中高の六年間を優に越えた時間を経て、再び母校の高田学苑に教員としてお世話になることができました。

卒業後も同じ場所と同じ教科で教壇に立つよう力強く導いていただいた恩師の先生や、学苑に戻るに当たり大変温かい言葉と眼差しで迎えていただいた前学苑長先生をはじめ、周囲の方々の支えに深く感謝しております。

着任して早二ヶ月、学苑の隅々ま

で足を運ばせていただき、新鮮な日々を送っています。学苑にとっても区切りとなる本年度に、ともに新たな一歩を刻みつつ尽力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

## 短 大

- 一、宮崎つた子
- 二、乳児保育、保育内容：健康
- 三、なし
- 四、旅行、ゴルフ、水泳
- 五、本年度より歴史と伝統のある高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思っております。

高田短期大学子ども学科に着任して早くも二ヶ月が過ぎました。まだまだ至らぬ点が多くご迷惑をおかけしておりますが、学生さんの明るい笑顔と諸先生方の励ましに支えられて、少しずつ出来ることから取り組んでおります。時代の流れと共に子育ての環境が大きく変化し、保育者に求められるニーズは多様化しています。本学の保育者養成教育の中で、子どもたちに安心感・安定感を与え、子どもの「変化」に気づける観察力を身につけ、科学的な根拠に基づいた健康教育を共に考えていきたいと思っております。

本学苑に貢献できるよう微力ながら努力して参りますので、今後ともご指導・鞭撻のほどよろしくお祈り申し上げます。

- 一、北川 剛司
- 二、教育の方法・技術、言葉表現指導法、保育内容論
- 三、なし
- 四、旅行、ドライブ、映画鑑賞

五、このたび、伝統ある高田短期大学子ども学科で保育者養成に携わることを大変うれしく思っております。

大学院生時代には教育方法を専攻し、文献研究だけでなく実践研究にも積極的に取り組んでまいりました。その経験を活かして、本学における授業では、実践的な保育方法を学んでもらえるような工夫をして、高い実践力を備えた人材の養成につとめてまいります。

未熟ではございますが、諸先生方のお姿に学びながら、教育・研究・社会貢献に力を注ぎたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

- 一、金丸 博文
- 二、事務局学務課
- 三、なし
- 四、映画鑑賞、球技
- 五、この四月より高田短期大学でお世話になることができ、大変嬉しく思っています。

数ヶ月間が経過しようとしていますが、まず第一に感じたことは学生がそれぞれ良い緊張感をもって居ることです。卒業後に教壇に立つこと、人の生命に関わること、企業が求める正確な情報を扱うことなどがその要因となっているかと考えます。

私は新人というには些か年齢を重ねていますが、初心を忘れずに諸先輩方の話を伺いながらも良い緊張感をもって職務に励みたいと思っております。そして何よりも学生が社会人となる過程に関われることを誇りに感じたいと思っておりますので、どうか皆様のご支援、

ご指導をよろしくお願い申し上げます。

一、中村 智子

二、心と身体、認知症の理解、小児保育実習

三、なし

四、映画鑑賞、読書、旅行

五、本年度より高田短期大学人間介護福祉学科に着任させていただきました。歴史と伝統のある高田学苑で教育に携わることを、大変嬉しく光栄に思います。

目標や夢を持ち、学ぶ学生は輝く存在です。医療・福祉・保健に関わってきた経験を活かし、次の世代を担う学生に人と関わる仕事の醍醐味を伝えていきたいと思っています。また、自らの専門性を高めるために、知識を深め探究する姿勢を持ち続けていきたいと思っています。

まだまだ未熟で至らない点が多々ありますが、精一杯努めたいと思います。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

一、川喜田多佳子

二、ワードプロセッサ、表計算、Webデザイン、インストラクタ演習など

三、なし

四、映画鑑賞、ガーデニング

五、本年四月よりオフィス情報学科で嘱託講師としてお世話になることができ、大変嬉しく、また光栄に思っております。

平成十六年よりすでに非常勤としてお世話になっておりましたが、常勤させていただくことにより、より学生に対してきめ細かな対応ができ、今まで以上に充実した取り組みを行っていききたいと思っております。

おります。学内のことはわからないことが多く、至らない点が多々ありますが、自分の立場・役割を見失うことなく、学生の皆さんが「キラキラと輝く笑顔」でいられる環境を提供できるよう私自身も笑顔をやさず頑張っていきたいと思っております。

進路指導

平成二十一年度生(平成二十二年三月卒業)は、三年制I類が二〇五名、II類が一九一名、六年制が二〇八名、計六〇四名でした。

進路指導

進路指導部

平成二十二年年度入試の可否結果と就職決定先を既卒者も含めてコース別にご報告致します。

〔注〕学校名の後の( )内の数字は人数です。( )なしは一名となります。

●六年制コース

◆国立大学(122)

弘前大・筑波大・東京大(13)・東京学芸大・東京工業大・一橋大

(4)・横浜国立大(3)・富山大・福井大・信州大(4)・静岡大・名古屋大(9)・名古屋工業大(2)・岐阜大(2)・三重大(41)・滋賀大(2)・滋賀医科大学・京都大(9)・大阪大(11)・大阪教育大・神戸大(6)・奈良女子大(2)・岡山大・広島大(2)・鹿児島大・琉球大

◆公立大学(13)

福島県立医科大学・富山県立大・名古屋市立大(5)・滋賀県立大・京都府立大(2)・大阪市立大・大阪

府立大・奈良県立医科大学

◆文部科学省所管外(7)

防衛医科大学(2)・防衛医科大学校(5)

未熟者ではありますが、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進路指導部

一、浅尾 正男  
二、事務局広報入試課  
三、なし  
四、旅、傾聴、野球、空手道  
五、本年四月より高田短期大学広報

●三年制コース

◆国立大学(19)

東北大・福井大・名古屋工業大・岐阜大・三重大(10)・大阪教育大・島根大(3)・広島大

◆公立大学(3)

愛知県立大・三重県立看護大(2)◆文部科学省所管外(1)

防衛医科大学

◆私立大学(425)

酪農学園大・自治医科大学・青山学院大(8)・北里大・慶応義塾大(38)・国際学院大・国際基督教大・順天堂大(5)・上智大(2)・昭和(2)・成城大・中央大(24)・帝京大(3)・東海大・東京慈恵会医科大学(4)・東京農業大・東京薬科大・東京理科大学(18)・日本大(2)・法政大・明治大(8)・立教大(2)・早稲田大(58)・金沢医科大学・朝日大・星城大・愛知大(6)・愛知学院大(3)・愛知医科大学(5)・愛知工業大(3)・金城学院大(4)・相山女子学院大・中京大(3)・中部大・名古屋外国語大(2)・名古屋学院大・藤田保健衛生大(5)・南山大(21)・名城大(16)・皇學館大(8)・鈴鹿医療科学大(8)・四日市看護医療大・京都外国語大(3)・京都産業大(2)・京都女子大(3)・京都精華大・京都薬科大(6)・同志社大(33)・同志社女子大・立命館大(61)・龍谷大(3)・大阪薬科大(2)・関西大

入試課でお世話になっています。「感性・知性・動性を磨く」をモットーとし、「和道」の心を大切に、みなさまのお役に立てるよう、一日一生の想いで微力を尽くして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

●三年制コース

(7)・関西外国語大・近畿大(14)・関西学院大(7)・神戸学院大(2)・神戸女学院大・神戸薬科大(2)・兵庫医科大学

◆私立専修・各種学校(1)

ユマニテク調理製菓専門学校

●三年制コース

◆国立大学(19)

東北大・福井大・名古屋工業大・岐阜大・三重大(10)・大阪教育大・島根大(3)・広島大

◆公立大学(3)

愛知県立大・三重県立看護大(2)◆文部科学省所管外(1)

防衛医科大学

◆私立大学(422)

明海大学習院大・拓殖大・中央大・帝京大・東海大・東京音楽大・東京女子大・東京電機大・東京農業大(2)・東京理科大学・日本大(2)・法政大(2)・明治学院大(4)・神奈川工科大学(2)・神奈川大・フェリス学院大(2)・金沢工業大(5)・福井工業大・山梨学院大・朝日大(2)・中部学院大・名古屋学芸大(5)・愛知大(8)・愛知学院大(24)・愛知工業大(10)・愛知産業大・愛知淑徳大(10)・金城学院大(9)・相山女子学院大(6)・大同工業大(14)・中京大(22)・中部大(14)・同朋大(2)・名古屋音楽大・名古屋外国語大(9)・名古屋学院大(6)・名

語大(9)・名古屋学院大(6)・名古屋芸術大(5)・名古屋商科大(11)・名古屋女子大(8)・藤田保健衛生大(2)・南山大(7)・日本福祉大(3)・名城大(22)・東海学園大(2)・名古屋文理大・愛知工科大(2)・愛知東邦大・皇學館大(42)・鈴鹿医療科学大(40)・四日市大(6)・四日市看護医療大(4)・長浜バイオ大(2)・大谷大・京都外国語大(2)・京都産業大(12)・京都学園大(2)・京都造形芸術大(2)・同志社大(4)・京都ノートルダム女子大・佛教大・花園大・立命館大(4)・龍谷大(4)・大阪学院大・大阪経済大(3)・大阪経済法科大(2)・大阪芸術大(2)・大阪工業大(5)・大阪体育大・大阪電気通信大・大阪大谷大・関西大(10)・近畿大(13)・摂南大(2)・関西医療大・関西学院大・甲南大・甲南女子大・神戸国際大・神戸女学院大・神戸松蔭女子大・奈良大(3)・岡山理科大学(2)・松山大

●三年制コース

◆海外大学(1)

シアトル・セントラル・コミュニティカレッジ

◆公立短期大学(8)

三重短期大学(8)

◆私立短期大学(48)

立教女学院短期大・上智短期大・至学館大学短大部・名古屋文化短期大(2)・名古屋学芸大学短大部(2)・愛知医療学院短期大・名古屋女子大学短大部(2)・名古屋短期大・鈴鹿短期大・高田短期大(31)・京都女子大学短大部・大阪信愛女学院短期大・関西外国語大学短大部・関西女子短期大・白鳳女子短期大

◆国立専修・各種学校(12)

三重中央看護学校(10)・三重県立公衆衛生学院(2)

◆私立専修・各種学校(43)

立教女学院短期大(8)

三重短期大学(8)

◆私立短期大学(48)

立教女学院短期大・上智短期大・至学館大学短大部・名古屋文化短期大(2)・名古屋学芸大学短大部(2)・愛知医療学院短期大・名古屋女子大学短大部(2)・名古屋短期大・鈴鹿短期大・高田短期大(31)・京都女子大学短大部・大阪信愛女学院短期大・関西外国語大学短大部・関西女子短期大・白鳳女子短期大

◆国立専修・各種学校(12)

三重中央看護学校(10)・三重県立公衆衛生学院(2)

◆私立専修・各種学校(43)

立教女学院短期大(8)

# 中・高部活動

## ■中・高将棋部

文化服装学院専門学校・コンピュータ総合学園HAL・東京IT法律専門学校・名古屋ビューティーアート専門学校・名古屋医療専門学校・名古屋外語専門学校・名古屋美容専門学校・名古屋製菓専門学校・旭理美容専門学校(2)・甲賀看護専門学校・三重県厚生連看護専門学校(4)・ユマニテック医療専門学校(6)・ユマニテック看護助産専門学校(2)・ユマニテック調理製菓専門学校・中部調理製菓専門学校・津看護専門学校・三重看護専門学校(6)・四日市医師会看護専門学校(2)・辻調理師専門学校・東海工業専門学校・日産京都自動車大学校・京都製菓技術専門学校・大阪スクールオブミュージック専門学校・大阪ダンス&アクターズ専門学校・大阪ペイ動物看護専門学校・大阪医療福祉専門学校・神戸医療福祉専門学校

長年同好会として中学生と高校生が一緒に活動してきましたが、本年度より中学、高校ともに将棋部に昇格しました。書籍等で定跡を研究し、全国大会等でこれまで以上の成績を残せるよう、棋力を向上させていきたいと思っています。

5月9日に行われた文部科学大臣杯第6回小・中学校団体戦三重県大会中学の部で3位、同月23日の第31回全国中学生選抜将棋選手権三重県予選では女子の部で2e鬼頭あゆみさんが優勝し、8月3・4日に山形県天童市での全国大会に出場します。男子の部では3e久米孝和さんが準優勝でした。その兄である5c久米秀和さんは5月4日に第46回全国高等学校将棋選手権大会兼第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門三重県予選で優勝し、8月2・3日に宮崎県で行われる全国大会への出場が決まりました。昨年選手宣誓をつとめた三重大会ではあと一步のところを決勝トーナメントに進めませんでした。11月に京都であった第29回近畿高等学校総合文化祭では3位になったものの、今年1月の山口県での第18回全国高等学校文化連盟新人戦では予選落ちでした。今度の宮崎大会では是非とも予選を突破し、上位入賞したいと意気込んでいます。なお、この大会にはII3山路彩乃さん、II5福森聡子さん、II D西村美星さんも女子団体戦に出場します。

## ■中・高柔道部

現在、部員は高校6年生男子1人、Ⅲ年生男子1人女子1人、5年生男子5人、女子1人、Ⅱ年生男子2人、4年生男子2人、Ⅰ年生男子2人、中学校3年生男子1人の中高男女合わせて16人で活動しています。

文武両道はさることながら「一生懸命」「辛抱」をテーマに部員一同、力を合わせて頑張っています。

最近の試合での戦績は、高校県総体において男子個人73kg以下級でⅡ年生、福井将仁君、90kg以下級でⅡ年生、福井祥太郎君、100kg超級でⅠ年生、松本和馬君が5位に入賞。三重県ジュニア体重別選手権大会において、女子48kg以下級でⅢ年生、大谷来実さんが3位入賞という成績です。

やはり、やる以上は結果につながらなければいけないと思っています。私達に足りなかったものを一日も早く見つけ出し、また来年に向けて勢一杯の努力をしたいと思っています。

中学生は、三重県の代表として、佐賀県で行われた全国の強豪校が集まる錬成会と大会に参加する機会を得て、志が高く、素晴らしい中学生と剣を交えることで、沢山のことを学びました。この経験を剣道だけでなく様々な場面で活かしていきたいと思っています。

日頃、休日にも関わらず、大会の応援や稽古に来てくださる先輩方には大変感謝しています。また、大学や職場などで剣道を続けてみえる先輩方が増え、うれしく思っております。立派な先輩方に続くことが出来ますよ。これからも中学生、高校生共々一生懸命頑張っていきたいと思っています。

に乗ることも、接することも部活動として足りない点が多々ありますが、それぞれがしっかりとした思いで部活動に取り組み、部を支えていってもらいたいものです。

また10名の新入生につきましても、皆やる気満々で毎日の練習、馬の世話に頑張っています。やることみんな、はじめてのことばかりで、厩舎そうじから馬の手入れにわいわい大忙しです。

中学校馬術部同様、高校馬術部にも新入生が8名入部しました。Ⅱ年生 4名、Ⅲ年生 4名 あわせて16名の部となりました。中学とあわせれば38名となります。本当に今の施設だから活動できますが、以前の場所では対応できませんでした。

この新しい施設も昨年10月に引越しを行い、半年以上が過ぎこのすばらしい施設が当たり前かのように使用している自分たちに驚くところでありますが、まったく贅沢なことであり日本一の馬術部の施設で充実した練習に取り組みしております。馬場をいくつかに仕切り、レベルに応じた練習が行え、障害練習につきましても競技会同様、コース練習も行えます。

この馬場で、それぞれが各自目標を持ち、最終的に全国大会出場、そして入賞をめざし励んで迎えた6月13日 御殿場市馬術スポーツセンター。今年は全国大会東海予選が御殿場市で行われ、4校の出場枠をめざし予選が行われました。Ⅲ年生 3名でエントリーしましたが、結果上位4校に残れず、東海予選敗退となりました。非常に悔しく、情けない結果となりましたが、これを糧に来年は必ず全国大会に出場し、成績が出せるようこれから1年間努力するしかありません。全国大会の個人戦につきましては、28名の出場者の

## ◆就職(9)

三重県警察・国家公務員Ⅱ種税務・セコム三重株式会社・ニプロフアーマー株式会社・大興株式会社・嬉野食品工業有限公司・鈴鹿カンツリークラブ・美容室 ぽ歩 Be-up・株式会社みどり

以上の結果でした。本校の卒業生が自己実現をめざし、社会のあらゆる分野に進出していく様がよくわかりただけだと思います。六年制は、東京大学の合格者が昨年より増加し、また医学部、特に三重大学医学部への合格者が二十五名となり定員の1/5をこえる数となっています。

今後同窓会会員の皆様のご声援をよろしくお願い致します。

## ■中・高剣道部

『剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である』私達は、勝負を手段として人間形成を目的としているということに常に自覚していません。勝敗を意図して努力することも忘れていけないと思っています。今年もインターハイ出場を目指したのも、女子は3位、男子は5位という結果に終わりました。努力は無限、勝負は一瞬であるという結果に終わりました。努力は無限、勝負は一瞬であることを思い知らされた大会でした。

## ■中・高馬術部

中学校馬術同好会も活動をはじめ2年が過ぎ、部員も2学年で12名となりました。

毎日のえさやりの当番から毎日の練習、競技会出場と部員それぞれがした形となり、この平成22年4月より栄えて『中学校馬術部』として、中学生徒会より認めていただきました。新しい厩舎・馬場になったの初めの新入生に10名を向かえ中学3年生 4名、2年生 8名 合計22名の部として活動することになりました。3年生は女子4名が皆積極的に取り組み、競技会においても成績を残せるようになり、これからしっかりと部を引っ張っていかけてくれるはず。2年生は男子、女子とも4名ずつおりますが、まだまだ馬

に乘ることも、接することも部活動として足りない点が多々ありますが、それぞれがしっかりとした思いで部活動に取り組み、部を支えていってもらいたいものです。

また10名の新入生につきましても、皆やる気満々で毎日の練習、馬の世話に頑張っています。やることみんな、はじめてのことばかりで、厩舎そうじから馬の手入れにわいわい大忙しです。

中学校馬術部同様、高校馬術部にも新入生が8名入部しました。Ⅱ年生 4名、Ⅲ年生 4名 あわせて16名の部となりました。中学とあわせれば38名となります。本当に今の施設だから活動できますが、以前の場所では対応できませんでした。

この新しい施設も昨年10月に引越しを行い、半年以上が過ぎこのすばらしい施設が当たり前かのように使用している自分たちに驚くところでありますが、まったく贅沢なことであり日本一の馬術部の施設で充実した練習に取り組みしております。馬場をいくつかに仕切り、レベルに応じた練習が行え、障害練習につきましても競技会同様、コース練習も行えます。

この馬場で、それぞれが各自目標を持ち、最終的に全国大会出場、そして入賞をめざし励んで迎えた6月13日 御殿場市馬術スポーツセンター。今年は全国大会東海予選が御殿場市で行われ、4校の出場枠をめざし予選が行われました。Ⅲ年生 3名でエントリーしましたが、結果上位4校に残れず、東海予選敗退となりました。非常に悔しく、情けない結果となりましたが、これを糧に来年は必ず全国大会に出場し、成績が出せるようこれから1年間努力するしかありません。全国大会の個人戦につきましては、28名の出場者の

口蹄疫問題にゆれてる宮崎県ですが、大会が無事に開催され、全国から集まる多くの高校生の活躍が、宮崎の人々への励ましになってくれ

中、主将の永野がAブロックで1位となり全国大会出場を果たしました。8月18日より東京 馬事公苑で行われる大会に向け団体戦の悔しさをこころで出してもらいたいものです。

■中学サッカー部

3年b組 藤原 和樹

僕は中学3年でサッカー部キャプテンをしている藤原和樹です。僕達の目標は県大会出場です。その目標は4年上の先輩達が県大会に出場した時から始まりました。次の年には県大会優勝、さらに次の年も県大会に出場し、伝統のようになつたのです。さらに伝統といえば、朝の練習にいろいろな学年の先輩が来てくれて一緒に練習してくれることが挙げられます。その先輩達は、学年なんて関係なくただサッカーを、後輩を、という思いで来てくれるので、いつも嬉しく思いますし、この伝統がこのサッカー部のいい所でもあります。さらに、まだサッカー部のいい所はあります。それは顧問の先生です。僕達の先生は、練習ではすごく厳しく、試合中でも、大声を出して選手を叱ったり、褒めたりしてくれます。それによって、チーム全体が盛り上がり、さらにサッカーの外になつて、すごく優しく語り、サッカーについて、すごく熱く語ってくれます。他にもいい所があります。それは、なかなか試合に勝てなくて、自分の日頃の練習や勝つという気持ちの無さだと思ひ、悩んでいる時に、同じ学年のチームの人達が励ましてくれたり、顧問の先生がアドバイスしてくれたりしてくる所です。

もうすぐ僕達の代の引退の時期が近づいています。日々の練習の意識を高め、チーム一丸となつて、目標に向かって頑張っていきたいと思ひます。

■中学バレーボール部女子

私たちは強くなるために毎日練習しています。練習場所は高田短期大学の体育館を貸していただいています。週に一回筋トレを行って体力なをつけて、練習時間は短いため、週に三、四回朝練を行っています。私たちの部の特徴は、とても明るくて元気な先輩と後輩との隔たりはなく、皆で喋り合つてとても賑やかな部です。また、同じ学年同士でも仲がよく、普段も一緒に遊んでいいます。それ程仲が良いので、辛い練習にも皆で頑張ったり、時に注意し、時には誉めて、時には励まし合つて段々強くなる実感があります。そして、試合では一致団結して、強いチームにも立ち向かつて勝負しに行くことが出来るようになりました。

■中学なぎなた部

私たち中学なぎなた部は、7月25日に新潟県刈羽村生涯学習センター「ラピッド」で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ第18回全国中学生なぎなた大会に3年生の駒田華奈子(3c)、渥美麻子(3a)、湯川実咲(3c)で出場します。昨年、大分県で行われた同大会では、団体の部で初となる5位入賞を果たしました。今年も、顧問として新たに佐藤先生をお迎えしたこともあり、この成績をおごることなく、「初心にかえる」を念頭におき試合に臨みたいと思ひます。

「普段の練習の中で、自分が入部してから少しでも成長できているのかどうか、不安に思うことも多々ありますが、この大会に向けてしっかりと練習して臨むことで、ひとつの自信を得て帰って来たいと思ひます。」(湯川)

一つにし、緊張せず自分らしい大きな演技をしたいです。また防具では、去年の先輩方の素晴らしい成績に負けたくない、今まで練習や合宿で教えていただいたことを出し切り、基本に忠実に、自信が持てるような試合を三人でやり遂げたいです。そして、毎日応援してくれている親や指導して下さる先生方、先輩方に成長した姿を見せたいと思ひます。(渥美)

「昨年に続き二度目の出場となりました。今年はキャプテンとして全種目に出場するという事で、大きな責任感を感じていますが、毎日厳しくご指導して下さいました先生方、先輩方には恩返しできるように、また自分でも満足いく結果が得られるよう、精一杯頑張ります。(駒田) (主将記)」

■中学バスケットボール部

本年度より屋外コートが完成し、使用できるようになりました。真新しいコートを元気づけたいに走り回っている毎日です。

新コートの魅力もあつてか、33人(男子22人、女子11人)もの1年生が入部し、2年生15人(男子10人、女子5人)、3年生15人(男子9人、女子6人)と合わせて63人で活動しています。

ほとんどが中学校からバスケットを始めた生徒ですが、地道に練習を積み重ねて目の前の一勝をつかみとつて欲しいと思ひています。また、厳しい練習を乗り越える中で、自分に負けない心、仲間と支えあう心を育んでいきたいと思ひています。

■中学野球部

部活動を振り返って

3年 佐野 正樹

私は、三年間野球部に所属しました。今、こうして振り返ると、とても

も思われた環境にあつたと思ひます。そして、学んだことも多いように思ひます。

まず、チームワークの大切さを学びました。私は、投手をさせてもらっていましたが、一口に投手をすると言つても、ボールを受けてくれる捕手がいないと成り立ちません。試合では、相手に打たれたボールを取つてくれる仲間がいないと勝てません。私は、昨年の秋季大会で準優勝という結果を残しましたが、それはあの二十人だったからこそその結果だったと確信しています。みんなが取つた一点を、みんなが守つて勝つ野球はこの上なく気持ちいいです。

次に「感謝」を学びました。先に書いた準優勝には、先生方の力もやはり大きなものでした。伊藤先生による的確なアドバイス、采配や、斎木先生や岩井先生は選手を常に気に掛けてくださいました。伊藤先生の

おっしやつた、「練習はさせてもらつて」との言葉は、今の自分の道標にもなっています。数多くの方々のおかげで、練習ができて、試合ができてい、何事も一生懸命に取り組み姿勢が大切だと思ひます。

気が付けば最後の大会まで二ヶ月を切り、最高の仲間、最高の先生方と野球ができるのも僅かです。今までの努力、時間を無駄にしないよう、最後の時まで全力で駆け抜けていきます。

■中学陸上部

今年度は、3年生15名、2年生22名に加え、新入生が10名入部し、総勢47名でスタートした。今年度は、昨年僅か0秒07秒差で通信陸上2位となり、全国大会出場を逃した男子400MRで、再度全国大会に挑戦する。今年度はチャレンジャー精神で、大目

クラブ成績表

クラブ名	成	績
陸上競技部	三重リレーカーニバル大会 ●男子400Mリレー 3位 河村天陽(3d)・中之宮和樹(3b)・齋藤祐亮(3d) 中西淳貴(3a)	
剣道部	津市中体連 春季剣道大会 団体 2位 個人 3位 久米孝和(3d)	
馬術同好会	2010春季三重県馬術大会 Starter Class I 2位 筒井友梨恵(3a) Starter Class I 4位 伊藤慎一郎(2a) 小障害飛越競技C 2位 秋葉詩音(3b) 小障害飛越競技C 5位 荒川美鈴(3e) Starter Class II 2位 伊藤慎一郎(2a) Starter Class II 3位 筒井友梨恵(3a) 小障害飛越競技C 3位 荒川美鈴(3e) 小障害飛越競技C 5位 丹羽れい(3d) 小障害飛越競技B 5位 丹羽れい(3d)	
科学部	第13回熱田の森ロボット競技会 ライトレーサー部門 高校生の部 特別賞 中村達彦(3a) 中川貴博(3a) 水谷維吹(3a)	
将棋部	第31回全国中学生選抜将棋選手権三重県予選 女子個人 優勝 鬼頭あゆみ(2e) ※8月3・4日 山形県天童市で行われる全国大会に出場。	

標・中目標・小目標を設定し、日々できることを確実に積み上げていくように、練習に取り組んでいる。自分の為にも、チームの為にどれだけ協力できるか・が課題である。

昨年度の主な成績は、7月の全日本通信陸上三重大会で、男子400MR第2位(3年国分祐樹、2年中之宮知樹、3年福井康大・大道卓也)で津市新記録更新(45秒07)、1・2年生のみで走る男子低学年リレーで県初優勝(2年河村天陽、1年松岡修平、1年鈴木悠介、2年中西淳貴)を果たした。共通200M(3年大道)共通走幅跳(3年国分)共通走高跳(1年松岡)とあわせて東海大会に出場した。低学年リレーは、東海大会において第2位と、かなりの好成绩をおさめ、自校のもつ津市記録も更新した(46秒86)。また、9月の三重県Jrオリンピックでは4名が入賞。男子Cクラス走幅跳で、1年松岡が6本目に参加標準記録を突破して逆転優勝し、全国Jr出場を決めた。

秋季の津市陸上大会では、男子の総合優勝3連覇ならず第2位。女子総合第5位と健闘し、男女総合第2位であった。県大会においては、男子800MR(400MRと同メンバー)が高田最高記録更新(1分35秒05)で第3位。低学年リレーは同メンバーで、夏秋連覇を果たした。3年国分祐樹が走幅跳で第6位、1年松岡修平が走高跳で第3位。あわせて男子総合第6位に入賞した。津市駅伝では男子が6位に入賞し、県駅伝に返り咲いた。

今年、男子の400MRと走高跳での全国出場の可能性が高いが、他の選手も切磋琢磨して少しずつレベルをあげてきているので、東海大会や県大会を大目標にしている選手の伸びもすこく楽しみである。

■高校野球部

私たち野球部は3年生17人、2年生19人、1年生22人、マネージャー4人の計62人で日々練習に励んでいます。新しいグラウンドが昨年10月に完成し、広々とした環境の下、部員の真剣にプレーする姿、笑顔でプレーする姿が見られ、大きな声が響き渡っています。新チーム結成後、さまざまなタイプのチームと練習試合をし、戦い方やマナー、あいさつ、礼儀などを学び調子よく秋の大会を迎えました。しかし大会では課題の多く残る納得のいかない結果となつてしまし、目標であった県大会出場を逃してしまいました。その悔しさをバネに冬の厳しいトレーニングを部員全員で乗り越え、基礎体力、精神力を向上させました。春の大会前の練習試合も順調で、今回こそは県大会出場と挑みましたが、惜しくも地区予選敗退となりました。夏の大会ではその悔しさを晴らし、今までの熱心に指導して下さった顧問の先生方、遠方まで応援に来て下さった保護者の方々、OBの方々、そして一緒に頑張ってきた仲間感謝の気持ち忘れず、心を一つにし、全員野球で一戦一戦を大切に戦っていきたく思います。これからも応援よろしくお願いします。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、3年生が引退し、男子25名、女子15名で活動しています。

昨年度行われたリーグ戦・ヤシマカップでは、男子は3位、女子は9位という成績を残しました。昨年11月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグを通過し、決勝トーナメントでは、四郷高校、名張西高校を倒し、念願のベスト4に入

りました。女子は部員不足のため、白子高校との合同チームで参加しましたが、予選リーグで敗退しました。今年1月に行われた選抜大会では、男子は1回戦いなべ総合学園に敗れ、女子は、1回戦四郷高校に敗れました。

先日行われた三重県高校総体では、女子は、1回戦上野高校に敗れました。男子は、1回戦鈴鹿高専に、2回戦上野工業・白鳳高校に、準々決勝上野高校に勝ちましたが、準決勝で四日市高校に敗れました。3位決定戦でいなべ総合学園に敗れたものの、4位という好成績を収めることが出来ました。

今後はこれ以上の成績をあげる事ができるような頑張っていきたいと思えます。卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取り組みも行っています。高度な技を練習するさい、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりません。選手たちには、その恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。

さて、本年度の主たる大会として、6月に愛知県で行われる東海高校総体、8月に沖縄県で行われるインターハイがあります。昨年のインターハイでは、二十年以上の目標であった「各種目8点代」を実現することができました。今年内、その記録をさらに上回り16位以内を目標としています。本年度キャプテンの新堂裕太もその実現に向けて日々練習に取り組んでいます。また、団体競技でのインターハイ出場も目指しています。そのためには、現在の2年生部員の活躍が不可欠です。今後の伸びに期待をしています。最後にになりますが、新体操部OBの皆様の心温かな応援ありがとうございます。また、今後ともご支援の方、よろしくお願いたします。

■高校仏青インターアクト部

5b 岡田 眞由  
高田高校仏青インターアクト部は、学苑内でも歴史ある部として様々な経験をさせていただいています。

学校行事(入学式、本山参詣・花祭り、追弔会、卒業式など)・地元でもある一身田町での企画・津市教育委員会主催の「歴史まるごと体験塾」のお手伝いや、老人ホーム慈光院への慰問、募金活動を主な活動内容としています。また、今年は150年を一度行われる「御影堂落成慶讃大法会」にも参加させていただきました。高田本山の深い歴史を改めて感じることができました。

私は、多くの人との関わりを持ちたかったのでこの部活に入りましたが、入部してからというもの、様々な活動を通じて多くのものを学ぶことができました。例えば一身田町の清掃活動や行事への参加によって、地域の人々との交流ができ、私たちはこの一身田町に支えられていることを感じ、感謝の気持ちを抱きます。また、微力ながら少しでも誰かのために働いているのだと思えることは、喜びと共に、自分自身の力にもなっています。

このような経験はなかなか出来ないものだと思います。私たちはこれからの活動をより一層充実させていきたいと感じています。

■高校バスケットボール部

私たちは今、2年生男子5人、女子5人、1年生男子11人、女子5人の計26人で毎日練習に励んでいます。以前は男女共に部員数が7人と少なかったため、実戦的な練習が難しかったのですが、新入部員が入り、新しく大人数での練習が出来るようになりました。

毎日の練習の中で、つらく、苦しいときも少なくありません。しかし、そんな時には部員が互いに声を掛け合い、一人ではなく全員が一丸となり乗り越えようとして頑張っています。チーム内では上下関係もありませんが、その中でも仲が良く、互いに意見を出し合うことが出来ています。新チームになったことで、最初は3年生がいらない環境に多くの不安や心配もありましたが、皆で協力することで、新しいチームとしてのスタートを切る事が出来ました。

その中でも、私たちが指導して下さる4人の先生方の存在は大きいです。毎日熱心にそして丁寧に指導して下さるおかげで、部員のやる気につながり、実力をつける事ができています。時には大声で怒られたりすることもありますが、教わる私たちもそれをしっかりと受け止め、次につなげようとしていきます。

放課後の時間をバスケットの練習に費やして一緒に汗を流して走る仲間達と、少しでも長く共にプレイするために、互いに実力を高め合い、一歩一歩勝ち進めて、チームワークを深めていこうと思います。私たちの目標は、男女共に県大会



第60回三重県高等学校総合体育大会 東海大会・全国大会出場一覧表  
平成22年5月28日(金)～30(日)

Table with columns: 部名 (Department Name), 競技 (Sport), 年組 (Year/Grade), 氏名 (Name), 成績 (Result), 全国大会 (National), 東海大会 (Tohoku), 三重県大会 (Mie Prefecture). Rows include卓球部 (Table Tennis), 陸上競技部 (Track & Field), なぎなた部 (Judo), ソフトテニス部 (Soft Tennis), 剣道部 (Kendo), 新体操部 (Artistic Gymnastics), 空手部 (Karate).

第21回全日本高等学校馬術選手権大会東海地区予選  
平成22年6月13日(日)

Table with columns: 部名 (Department Name), 競技 (Sport), 年組 (Year/Grade), 氏名 (Name), 成績 (Result), 全国大会 (National). Rows include馬術部 (Equestrian) with sub-sections for 2010春季三重県馬術大会 and 2010みえ馬場馬術大会.

へ出場することです。この目標を達成するために、今出来ることを精一杯努力し、練習に励もうと思えます。
■高校なぎなた部
先日、5月23日に行われた県総体の結果、8月3・4・5日に行われる、全国高校総体に演技で、丹羽智子(4e)・仲谷彩(6a)、個人で、仲谷が出演できることになりました。決まった時はあまり実感がわきませんでした。後になって実感がわいたときは、すごく嬉しい気持ちと共に、もっと頑張らなければという気持ちになりました。
試合に向けてのいきごみは、「まだまだ不安なことはたくさんありますが、先輩と気持ちをあわせて、先生方や先輩方に教えていただいたように演技できるよう、大会に向けて練習していきます。試合では自信をもって演技ができるように頑張ります。(丹羽)
「演技では、丹羽と息を合わせて大きな振りができるように練習していきます。本番では焦らず、練習して

きた成果を出せるようにします。個人では、冷静に相手を見て、強気で攻めます。自分の得意技を試合までに更に磨いていくように練習に励みます。(仲谷)
選抜では、いい成績が残せなかった分、そこで学んだことを活かして、総体では、勝ち上がっていきけるように練習していきます。
又、6月20日に弥富町で行われる東海高校総体に個人の部：仲谷・丹羽・市地さくら(6c)が、演技の部：丹羽・仲谷組が、団体の部：仲谷・小野美咲(ⅢD)・市地・奥田真奈佳(5c)・藤川満帆(ⅡC)・丹羽・長友あゆみ(4c)がそれぞれ出場します。2年ぶりの総合優勝目指して頑張りたいと思います。(主将記)
■高校俳句部
昨年まで、8年連続で「松山俳句甲子園」に出場を果たしている俳句同好会は、本年4月より部に昇格し、「俳句部」として新たなスタートを切りました。

現在部員数は7名。昨年3月に10名が卒業し、ややさびしい人数になってしまいましたが、部員達は部への昇格を励みにして、句作にディベートにも熱心に活動しています。
本年も、6月20日に俳句甲子園津地方大会、8月7・8日に全国大会をひかえ、予選突破を目指し鋭意句作に励んでいます。
昨年は俳句甲子園の他、様々なコンテストにも句を出品し、良い成績を取ることができました。
第12回神奈川大学全国高校生俳句大賞入選
品川由衣(5年)
原爆忌コップ一杯満たす水
素っ気ない返事青林檎かじる
両手より抜けゆく自由水くらげ

■高校バドミントン部
私たち高校バドミントン部は男子33名、女子24名で活動しています。まだ創部3年目という若いチームですが、昨年度は目標であった団体戦で男女共に県大会5位入賞を果たすことができました。今年も個人戦での入賞、団体戦でのベスト4を目標に日々練習に励んでいます。
普段は高田短大の体育館を借りて練習しています。部員は高校からバドミントンを始めた者が多く、基礎的な練習から応用を利かせた練習までは毎日使わせていただけるわけではないので、それ以外の日には外周を走ったりトレニングをしたりして基礎体力の向上を図っています。
バドミントン部には部訓というものがあり、挨拶や服装といった普段の生活での礼儀やマナー、部活動中における規則などが定められています。選手として体力・技術・精神力を鍛えるとともに、一人の人間として成長できるように努めています。
まだまだ未熟なクラブではありますが

■高校卓球部
平成22年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り(シングルの部 中勢地区予選)
4月24日 津市体育館
男子シングルスでは、ⅢD森谷僚太がⅢC東構肴樹との同土討ち決勝を制して優勝。女子シングルスはⅡC安川奏子が第2位、第3位にはⅠF宇野はるなと4c川端真奈が入賞しました。
(シングルの部 三重県予選)
5月1日・2日 県営体育館
男子シングルスでは、ⅡA宇仁田雅雄が第2位、Ⅲ2戸上雄貴が第4位で、沖繩総体の出場権を獲得、ⅢC東構肴樹が東海総体の出場権を、また女子シングルスでⅡC安川奏子も東海総体の出場権を獲得しました。

〔ダブルスの部 三重県予選〕

5月28日 県営体育館  
男子ダブルスでは、Ⅲ2戸上雄貴・ⅢC東構宥樹ペアが優勝。二連覇した松生直明・酒井佑人ペアに引き続き、本校卓球部が県予選三連覇を達成し沖繩総体の出場権を獲得。またⅡA宇仁田雅雄・ⅡEペアも東海総体の出場権を獲得しました。

〔団体の部 三重県予選〕

5月29日・30日 県営体育館  
男子団体は、初戦から最終戦までの6試合すべてを3-0で勝利する完全優勝。4年連続8回目の全国総体出場となりました。女子団体は、新入生の加入による戦力アップが功を奏し準優勝。東海総体の出場権を獲得しました。

全国総体は8月6日〜12日に沖繩県宜野湾市で、東海総体は6月19日〜20日に愛知県名古屋市中で開催されます。

■高校ソフトテニス部

私達女子ソフトテニス部は、3年生3人、2年生3人、1年生4人の計10人で活動しています。1年生が入部するまでは2・3年生合わせて6人でした。団体戦では6人が試合に出るので、一人一人がとても大切な選手でした。人数が少なかつた為2・3年生はとても仲が良かったのですが、時によっては意見が食い違ったりもありませんでしたが、お互いの意見を言い合う事により、何でも言い合える深い絆が出来ました。

休日には、先生方に練習試合をたくさん組んで頂きました。相手チームの学校に行く事により、その学校の雰囲気などを自分の目で感じる事が出来ました。私達は顧問の先生、家族、友達、そしてチームメイトに

支えられてテニスを楽しく続ける事が出来ました。

部活ではボールを打つ事だけが一番大切なのではなく、ボール拾いが練習中では自分が一番下手と思いがちな謙虚な気持ち、感謝の気持ちを忘れずインターハイに出場という目標を持ち日々の練習に取り組んでいます。

平成22年度の4月に行われた東海高校予選の個人戦で高田高校から1ペア東海大会への切符を手に入れました。コートの中では二人ですが、チーム全体が心を一つにして応援している人も一緒に戦っている気持ちで応援をしました。高田高校に東海大会へ出場するペアがいる事とても誇らしく思います。東海大会でもチーム一丸となって応援したいです。これからもソフトテニス部の応援をよろしくお願いします。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
私たち陸上競技部は現在、男子33名・女子25名の58名で活動しております。

昨年の東海高校総体以降に新チーム結成し、キャプテン木村を中心に過去最強のチームを目指して夏、冬の長期休業時に延べ6回の合宿をはじめ、県内外の強豪校との合同練習などにより心身共に強化してきました。昨年は試合ではまずまずの記録が出せるのに狙った大会で勝ちきれずに悔しい思いをしたぶん今年はい速い選手より強い選手に成長してきたように思います。4月の大会から結果にこだわらず5月末の県高校総体では今まで一番の結果を残す事が出来ました。

そして、13名の選手が6月の東海高校総体に出場することが出来ます。昨年までは東海大会は出場するだけで東海4県のハイレベルな争いに加わる事が出来ませんでした。今年度は東海で6位以内に入賞し22年ぶりの全国高校総体へ出場権を勝ち取ってきたいと思っています。

最後になりましたが、昨年、校舎の西側に新グラウンドを作ったいただき、施設に恥じない活動をしていくと共に、日頃よりご支援を頂いております。保護者の皆様や卒業生の皆様への感謝の気持ちを結果で現せるよう精進していく所存です。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお祈り致します。

【主な戦績】  
平成22年度県高校総体体育大会  
学校対抗の部 男子総合 第7位  
男子トラックの部 第3位  
男子5000m競歩 優勝  
男子1組 塚本 浩士  
女子3000m競歩 準優勝  
女子3組 東口佑圭理  
女子円盤投 第6位  
男子110mハードル 第3位  
男子800m 準優勝  
男子4x400mリレー 準優勝  
男子4x400mリレー 準優勝  
男子2組 木村 健人  
男子4組 前田 貴也  
男子6組 有瀧 壮  
男子B組 小塚 優  
男子4x100mリレー 第6位  
男子2組 木村 健人  
男子4組 前田 貴也  
男子B組 小塚 優  
男子4年c組 伊藤 祐人  
男子4年b組 大道 卓也  
男子400mハードル 第5位

今年度は活動の幅を広げ、十名が浜名湾高校生水泳競技大会へも出場しました。その十名の中の現在高校Ⅲ年生の田中弘樹君が昨年度のインターハイに100m平泳ぎで出場を果たしました。入賞はできませんでしたが、個人のベストタイムを出すことが出来ました。今年度は田中君に続く選手が一人でも増えてほしいと思っています。

■高校水泳部

現在男子十七名、女子九名 計二十六名で活動しています。  
学校のプールでの練習は5月末〜9月末で、それ以外は学校での筋力トレーニング、鈴鹿スポーツガーデンやスイミングスクールのプールを借りて練習しています。

この冬はたくさんの方のご協力あつて高校水泳部初の合宿を行うことが出来ました。午前と午後一日二回練習で、経験したことのないメニューの多さにバテていたのですが練習メニューとその日の練習を振り返る感想、反省と次への課題を記録することで水泳に対する姿勢が変わってきたと思います。

今年度は活動の幅を広げ、十名が浜名湾高校生水泳競技大会へも出場しました。その十名の中の現在高校Ⅲ年生の田中弘樹君が昨年度のインターハイに100m平泳ぎで出場を果たしました。入賞はできませんでしたが、個人のベストタイムを出すことが出来ました。今年度は田中君に続く選手が一人でも増えてほしいと思っています。

■高校バレーボール部

程お祈り致します。  
私たちがバレーボール部は、男子が3年生5人、2年生1人、1年生9人の15人で、女子が3年生4人、2年生10人、1年生9人の22人で活動しています。

毎日放課後、顧問の先生方の御指導のもと、公式戦上位入賞を目指して練習しています。

男子は、高校からバレーボールを始めた子が多く、初心者が多いチームです。高校から始めた子の中には、エースパイカーやレシーバーをするくらいまでにチームの中心人物として成長しました。チームの良さは、毎日明るく、楽しく、元気に練習することです。昨年の県大会ではベスト8に入賞しました。

女子は、先輩方が最も大切にしておられたように、チームワークがよく、常に明るく元気に、全員で支え合いながら日々練習に励んでいます。休日には、県外の強豪校との練習試合を多く取り入れ、少しでもチーム力が強くなるよう努力しています。

昨年の県大会では第3位となり、静岡県で行われた東海選抜大会に出場することが出来ました。それによりバレーボールを高いレベルで行うことが出来ました。

現在、男女共さらに良い結果が残せるよう、日々厳しい練習に取り組んでいます。失敗することで逃げ出したくなっても、目標を目指してみんなで支え合っています。

今後ともバレーボール部は、日々精進していきますので、応援よろしくお祈りいたします。

■高校吹奏楽部

吹奏楽部は、4月に新入部員29名

を迎え、63名で新年度スタートしました。

5月23日に、中勢地区8校による合同演奏会、第14回フレンドシップコンサート・イン・ブラスに出演。

当日大雨の中、812名の来場者を迎え、無事、終える事ができました。

この行事で3年生は引退し、1・2年生で8月に行われる三重県吹奏楽コンクールに向けて練習です。

コンクールが終わると、文化祭、アンサンブルコンテスト、個人・重奏コンテストと行事が続きます。練習し、一曲を仕上げる事はとても大変ですが、一つでも多くの舞台上に立ち、自分達の活動の幅を広げていきたいと考えています。

■高校ソフトボール同好会  
先輩方、私達は復活しました。高校には、約三十数年前に当時教員の荒木幸子先生の指導のもと、女子ソフトボール部が存在しました。選手は、国体の三重県代表選手にまで選ばれるほどの実力であったようです。その後、部員数が減少し廃部となってしまうましたが、平成20年10月よりソフトボール練習会として活動を始め、平成21年4月、宇河、馬場が顧問となり、正式に生徒会にて承認され、同好会として復活しました。

今年度より部員数も増え、15人で東グラウンドにて、活動を行っております。また、周りの方々のご協力もあり、昨年4月より、春季大会、県総体、秋季大会に出場させて頂くことができました。今年度の春季大会は0対10(四日市商業高)、県総体は0対3(名張西高)と結果は残念ながら1回戦敗退とまだまだの結果ではありますが、この悔しさを糧に部員全員一生懸命練習に励んでいます。

今はまだかつての輝かしい戦績には程遠いですが、まずは「公式戦1回戦突破」を目標に、チーム一丸となって頑張っていきたいと思っております。

# 短大だより

## 進路状況

### 就職活動に携わって

キャリア支援室

平成21年度卒業生の進路状況について報告致します。  
子ども学科は、幼稚園31名、保育園87名、児童・障害者福祉施設3名、企業等7名が就職し、家事従事等10名と合わせ138名が卒業しましたが、幼稚園教諭・保育士の専門職としての就職者は、94%と例年と同程度の割合を占め、四月より県内各地の園施設でお世話になっております。  
三回生14名が卒業した人間介護福祉学科では、男子2名が社会福祉士や理学療法士の更なる資格取得を目指し、四年制大学編入、専門学校入学による勉学継続の道を選びました。12名の女子は各自が希望の介護施設への就職を実現しました。本学在学中、全員が意欲的に介護の勉強に取り組んだ彼女達には、本学卒業により取得した介護福祉士資格による専門職として、各施設での活躍が期待されます。

44名が卒業したオフィス情報学科では、四年制大学への編入学や家事従事等の5名の他は、39名が就職し、各事業所の新たな環境で、社会人としての一歩を踏み出しています。業種別の内訳は、建設業2名、製造業4名、電気・ガス・水道業1名、卸小売業10名、金融業4名、宿泊・飲食・

生活関連サービス業10名、複合サービス業2名、医療福祉6名です。職種は、事務29名、販売3名、サービス6名、生産1名に分類されますが、全員が学科で学んだオフィススキルとしての知識やスキルを活かした仕事に就いています。  
以上、平成21年度卒業生は、各学科共に例年通り、希望者のほぼ全員が各雇用先への就職を果たすことが出来ました。この結果は、各幼稚園・保育園・施設・企業や学苑の関係者等、日頃より高短生を暖かく見守って頂いております多くの皆様方のご理解、ご配慮のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、一昨年のリーマンショックに端を発した経済不況による一般企業への就職の困難さは、平成21年度本学卒業生の就職にも、少なからず影響が見られました。今年度は、求人数の減少等により、更に厳しい環境の中で、2年生が各学科での学習に励む傍ら、就職活動に取り組んでいます。  
本学においては、文部科学省の平成21年度「大学教育学生支援推進事業」として採択されました「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システム」の開発等、種々の施策によって、きめ細かな進路・就職支援の向上に努めています。

	就職者	進学者	従事者	卒業生
子ども学科	128	0	10	138
人間福祉	12	2	0	14
オフィス情報	39	1	4	44
計	179	3	14	196

## 部会だより

北端 一子

勤務をしながらの同窓会活動でしたが、この三月に退職をして家庭での生活がスタートしました。高田短大を卒業して四十年、我ながら良く続いたなと思います  
自分一人の力ではなく、家族の支えがあつてこそだと感じています。子どもの体調が悪い時でも親にお願ひしたり、主人の協力で務めが出来たりと、いろいろと思ひ出してきます。これからは、家庭のことをゆっくりとしていこうと思つていても、サボる癖がついているというか、手抜き癖があるというか、思うようには進まない毎日です。明日があるから、明日があるからと言いながら、一つ一つ自分のペースでゆつたりと過ごしています。

さて短大部会活動ですが、今年度の第一回の役員会が、四月二十六日にありました。勤めをしている役員もいるので、午後七時三十分短大の会議室で行いました。これからの予定とともに、近況報告や乳幼児教育の現状と、心配なことや家庭の様子などを情報交換しました。今年度も高田短大の学園祭「高短祭」に同窓会よりバザーをする計画をたてました。バザーもすっかり高短祭の中で定着しつつあります。楽しみにして見える人もいます。楽しみにして見せる人もいます。理事会の皆様の協力でたくさん品物を出していただいております。連絡をしないと「今年度はバザーをしないの？」と問い合わせがあると聞きました。また、近所のおばさんが「毎年バザーをしているので楽しみに見に来たわ」と言いながら品物を選ばふ姿も見られということです。嬉しいことですね。バザーの収益金は、

同窓会の集まりに、少しでも援助が出来ればということ通信費の一部を助成しております。各クラスの同窓会の幹事の皆様、連絡をいただければ申請書類を送らせていただきます。また、各年度の理事の皆様にも秋に送らせていただきますので、その申請用紙をお使い下さい。また、『高短祭』に来ていただいて、バザーを見に来て下さい。一緒にバザーを盛り上げていただけませんか。よろしくお願ひします。短大部会の活動に、これからもご理解とご協力をお願いいたします。

## 国際交流委員会

### 第16回 オーストラリア交換留学

牛尾 雄一郎

このほど、平成22年3月12日から同26日まで第16回オーストラリア交換留学(パレード校ならびにセントモニカ校への留学・研修)が実施される運びとなった。この行事は、昨年度に新型インフルエンザの感染拡大等の事情から中止を余儀なくされ、二年ぶりに再開されたものである。今回交換留学に参加したのは生徒33名、引率教師6名の計39名である。参加者は予定どおりの諸行事を終え、全員無事帰国の途についていた。私がホームステイをした二軒の家庭では「オーストラリアハズバンド」の名に漏れず、夫が家事・育児に積極的に加わる様子が見られ、同時に職場の就業時間は日本より恵まれた環境下にあることを知った。また、多くの家庭が広い庭を持ち、イヌやネコを半ば放し飼いしているのを目にして、これならペット・人間双方が

ほとんどストレスを感じることなく共存できそうで、微笑ましく感じた。今回の研修ではパレード校で新たにサーフィン実習が行われたが、生徒たちもこれに意欲的に取り組む姿が見られた。各種の研修は、本校の国際交流委員の教師と、パレード校・セントモニカ校の関係諸先生方、ならびに三校の生徒等によって綿密に練られたのちに実施された。これらの研修内容が今後更に成熟され、日本・オーストラリアの生徒・教師間で互恵の成果を高められることを期待したい。末筆であります。この度の交換留学に際し何かと支えていただきますみなさまに深く感謝の意を表します。



パレード校の生徒たちと共に  
(ヴィクトリアマーケット前にて)

会員だより

「持続力に込めた星霜」

大森 生己(桂歌)

昭和二十六年高校卒

俳人金子兜太師に師事してからだけでも、三十六年の俳句生活が私の実作歴の証として生活に定着して久しい。

来年三月で高校卒業後滿六十年の人

生を生きて来た事となる。

高校二年に文芸部で詩を木馬へ発表していた昭和二十五年、家郷の句会で橋本鶏二師と出合い「刈藻」という鶏二指導俳誌へ投句し亡父と競い合った高校二年の秋が、俳句への目覚めと気負いが奔流のように私を押し流して行った十七歳の実像であつたらうか。

昭和二十七年に郵政公務員となり省機関紙「郵政」俳壇富安風生師の特選に度々入り評を受け俳句への視野はより拡大し組合の文化活動へも参画、石田波郷選でも特選となり稿料を毎月のように手にした日常が続いた。

一九七一年(昭和四十六年)全通の文化活動誌が創刊され私を含む全国の作者が開始したのであつたし書き手は厚い層をなした。

昭和四十九年に選者が金子兜太となり文化誌と全通新聞俳壇共選となつて進展してゆき兜太師のイメージは前衛作家として意中であつて逡巡した日があつたが選句は作者の姿勢や意を熟知した選評は私の杞憂を氷解していつたの時はかからなかつた。

私の郵政部内四十年余の生活で俳句が主流を果たしていたのは文芸が好きだつた事に他ならないし幼時火事を記した綴方で五重丸だつた四年生の恩師の面影を思う。

省と組合の洪水のようなメディアへ文章を俳句と発表して作者としての生活も機能していたからであつた。

そして退職後十八年の現在もJLP 労新聞は毎月届き俳壇歌壇への寄稿は毎月欠かさない。

思えば昭和五十年五月第一回全通の文化活動一九七四年度作品賞結成三十周年記念文芸賞を受けるため上京、泊付招待され賞状賞金を拝受した。その日より三十五年の歳月が流れ渚に洗われた桜貝のような記憶が今

も鮮明に体の中に生きている。

その後部内四十年余に一九九一年と退職後一九九九年計三回俳句部門賞を受け壁の賞状は未だ色はあせて居ない。現在も毎月兜太師の選を受け暦日が過ぎてゆくのだ。

文化功勞者となられた師に惜しみない敬意を捧げ積年の師恩の深さに感謝し命ある限り精進していきたいと切に思う。

因みに過去の作品の一端を再掲して供覧に資する事とした。(巻頭・特選) 一部のみ。

如意輪堂暗し落花を髪につけ  
おぼろ夜の下水が闇に響くなり

遊女等の預金はかなし忘れ雪  
苦学さびし梅雨の机に辞書汚れ

(昭和五十一年第三十回芭蕉祭特選 飯田竜太選)  
(俳聖殿永久保存 鯛雲港の昼はホテル空き 廊に澄む女教師の肌休暇明け 日向ぼこしている孤児や名古屋駅 (富安風生)

(昭和三十三年富安風生著 郵政省 教養の書より)  
春暁の灯をびしと消し夜勤果つ

父祖の地を購ひ抜け住み草青む

金子兜太特選

景山荷吉

平成22年度退職教職員

(中・高)		(短大)	
田中 和磨	梶 美保	藤牧 恵	森 由佳子
細川 明彦	松浦 幸代	三岳 智子	協野 裕久
河北 智子	中野 美雅		大西 眞純
	真弓 徳光		

報 告

中津 晋亮 (S23)	津木 仁三郎 (T03)	太田 孝吉 (S13)	小石川 保次郎 (S5)	坂山 亮光 (S8)	栗山 英心 (S11)	福田 勤三 (S14)	齋藤 正栄 (S15)	若松 昭澄 (S16)	松田 生三 (S16)	若林 淳泰 (S17)	伊藤 幸三 (S17)	須藤 智子 (S18)	尾藤 浩司 (S18)	伊藤 尚子 (S18)	奥野 順和 (S19)	大松 修三 (S19)	藤田 晃寛 (S20)	谷口 守夫 (S20)	金丸 夫 (S21)	増村 俊明 (S21)	大橋 秀之 (S22)	高橋 能之 (S22)	井崎 秀之 (S23)	
高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)
高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)	井崎 秀之 (S29)	大橋 秀之 (S29)	高橋 秀之 (S29)

松過ぐや激務の夜々の記憶遠し  
父癒えよ秋思へ卵かさね割る  
畦永久にあれ月光へ村は寝て  
亡きがらとなりたる父の汗が掌に  
秋晴れや遺品となりし靴干す  
海苔不作なればな お荒れ浦の冬  
事務始め激しく勤め病まず経し  
海光の燕よ激務明けし眼に  
終戦忌過ぐ釣り鐘の無き寺に  
くしゃくしゃと葉が掌に哀し菊枯れる  
恐ろしき未だ見ぬ月日二日暮れ  
船に研ぐ米きらきらと秋の航  
草萌えぬ熱き心に妻を見て  
憂い解けたばしる尿や水草生う  
教室の音が浮寝の鴨にひびく  
忌に集う母の日傘は妻に似合う  
鴨浪に満ちてにわかには浦は冷ゆ  
月今宵仄かに酔いて辞書を引く  
働きし汗を愛しみ春の昼  
安住 敦特選  
(昭和三十八年名古屋郵政管内俳句大会特選)